

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

100,843円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	18,216円
交通費(駐車場、燃料代)	7,080円
通信費(折込代、携帯電話代)	75,547円
支出計 20/6/1～20/6/30	100,843円

市政を考える 月刊武松

発行日
20/7/1

第190号

21600部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

新体制と市立病院再建遅れ

6月補正予算37.6億円 新病院建設関連入札中止

小田原市議会6月定例会の概要です。

■副市長選任

守屋輝彦市長から、鳥海義文氏(元市企画部長：58歳)および、玉木真人氏(元県理事〔共生担当〕：60歳)を副市長に選任の人事案が6/8に提出され、同意しました。

(任期：2020/6/9～2024/6/8)

補正予算の主な内容を示します。

基金への積立など予算枠の確保は、省略します。

■学校教育の充実

GiGAスクール構想に基づく児童・生徒への学習用端末1人1台の整備を早期に実現し、臨時休業等の緊急時においても子供たちの学びを保障できるよう、国の補助金を活用した端末等の購入またはリースにより調達する。また、自宅パソコンからもアクセスが可能な学習支援ソフトについては、先行して導入する。さらに、自宅にWiFi環境のない児童生徒に対応するため、WiFiルーターを約3000台購入する。

◎ICT教育推進事業費の増額 5億2926万円

◆債務負担行為設定 ICT学習用端末等借上料

(2020年度から2025年度) 12億円

■観光まちづくりの推進 1億9940万円

2021年6月にオープン予定の小田原市観光交流センター(市民ホール敷地内)の管理運営に係る指定候補者の選定委員会を設置するとともに、備品の購入、観光情報盤や多言語案内板等の整備を行う。また、城址公園内の景観や快適性の向上を図るため、本丸広場等の便所整備工事や電線地中化工事等を行う。

◎観光交流センター備品等整備事業費等の計上

◎城址公園管理運営事業費の増額

◎城址公園整備事業費の計上

■新型コロナウイルス感染症対策関連 3億3266万円

◎住居確保給付金支給事業費の増額

◎地域活動支援センター等受入体制強化事業費補助

金の計上

◎小・中学校及び幼稚園用衛生用品等購入費の計上

◎放課後児童健全育成事業費の増額

◎小田原城天守閣事業特別会計における施設管理運営委託料(指定管理者制度 適用分)の計上

■特別定額給付金は、89.8%給付済み

特別給付金(一人10万円の国の給付金)事業ですが、申請には期限があり、申請期限が9/1となっています。

当初は、「コールセンターに電話が繋がらない」「職員の電話対応が不適切」「親族の申請書が届かない」等、苦情もいただきましたが、6/26時点で、7万9039件、給付率で89.8%の給付が完了しています。

まだ申請をされていない方は早めの申請をお願いいたします。

新病院周辺環境整備入札中止

■看護師宿舎北棟解体・改修工事の入札中止

当初予算で成立した新病院周辺環境整備の看護師宿舎北棟解体・改修事業の入札が、守屋市長の命令により中止されました。

1/28の厚生文教常任委員会で、市は、新病院建設は現地在最善と判断していると説明しました。また、進入路となる道路の付け替えについても警察協議済みでしたが守屋市長は入札を止めました。

市長は、入札中止の理由を、基本計画で建設用地と機能、建物等を決めていくと答弁しました。しかし、建設用地については基本構想でまとめたもので、建設用地まで再検討するとなると、基本構想まで再検討しなければならず、新たに建設用地購入となれば、大幅な事業の遅れと事業費の増大となります。

私は、現基本構想と現地再建で進め、基本設計の中で、新たな感染症に対応した機能と設計にしなければならぬと考えています。

追加議案 賛成多数で可決

6/19に追加議案として一般会計補正予算と政策監設置条例が上程されました。国の2次補正予算成立時期もあって、議会途中での追加議案となった訳ですが、それに合わせ市長の特別秘書(政策監)の補正予算と条例案が出されました。

特に特別秘書(政策監)設置の追加議案は、一般質問の締め切り後に提出されたもので、一般質問でできませんでした。その人選によっては、公職の私物化と言われても仕方ありません。こうした議案提出を、副市長、幹部職員や市長に近い議員が止められなかったのか残念でなりません。

そのため残念ながら修正案の提出となりました。

■一般会計追加補正

◎子育て世帯応援事業費 2億9285万円

18歳以下世帯に地域で利用できる1万円分の応援券(千円×10枚の商品券)を配布。

◎ひとり親世帯への臨時特別給付金 1億9054万円

収入減となったひとり親世帯へ5万円/世帯給付

◎学校給食費3ヶ月無償化 1億8360万円

市立小中学校3か月分の給食費(7月分～9月分)を無償とします。

新型コロナウイルス感染症対策における小田原市独自の支援策として、保護者の家計負担を軽減するため、給食再開後の3か月分(小学校 1万2900円 中学校 1万5000円)の給食費を無償とすることとしました。

このため、市立小中学校の給食費7月分から9月分までの口座引き落としは行いません。口座引き落としは、10月分(10/5引落日)からの実施となります。

※今年度については、6月分の給食費の引き落としを中止したこと、夏休みを短縮したことに伴い7～9月の実施日を増やしたことなどから、例年給食費の引き落としの無い「8月分」についても給食費が発生します。

◎校舎清掃・消毒委託料、衛生用品等購入費

1億1800万円

◎特別秘書(政策監)経費 978万円

政策監の給料、職員手当、共済費、旅費
企業誘致や市立病院再建、国県からの補助金獲得

といった重要案件を担う。定員は1人、任期は1年で再任可能。

■政策監設置条例可決

6/25の本会議で、重要施策を推進するための市長直属の特別職「政策監」を設置する条例案が賛成多数で可決されました。

以下に、私が行った政策監設置条例に対する反対討論を示します。

議案第78号小田原市政策監の設置等に関する条例に対する反対討論を致します。

政策監の設置は、所謂、**特別秘書の設置**であり、法的には設置が認められており、その選任には、議会の同意を要しないことは理解しております。

他市の例では、市長の恣意的な人事が行われ、政治的に混乱する例も散見されます。特に初当選後の場合、選挙に貢献のあった人事が行われた例もあり、特にこの点に対し、市民に疑念を持たれないよう配慮が必要であります。

6/22に行われた総務常任委員会の質疑の中で、政策監は、市長直属で市職員への指揮命令権を有しないこと。また、政策監の動向は副市長同様公開されず、情報公開請求によるとのことでありました。

このたびの条例は、選任に議会の同意を要しない人事に関わるものであり、その根幹は市長の性善説に基づくものとなっております。それだけに市長の任命責任は非常に重いものであります。

これらの懸念される課題に対し、本条例案では、恣意的な人事を防ぐための、**選任に当たっての議会の同意を得る条文を追加しておらず、また、政策監の成果を市民に説明するような方策も条文に含まれておりません。**

したがって、甚だ残念ではありますが反対せざるを得ません。

また、同様の理由で、議案第77号一般会計補正予算案の修正動議である、政策監に関する給料、職員手当等、共済費、旅費の削除に賛成するものであります。

■政策監に八木大二郎氏(相模原市緑区)を選任

守屋市長は6/26、政策監に相模原市長選挙で選出した元県議(市長が県議時代同期当選・同会派)の八木大二郎氏を選任しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため

7月の議会報告会は中止します。

8月の月刊武松発行・配布は都合により中止します。



公式HP
月刊武松の「ツタ」の他



twitter
防災・感染症情報



facebook



2020年度
予算概要



▲北條五代祭りにて